



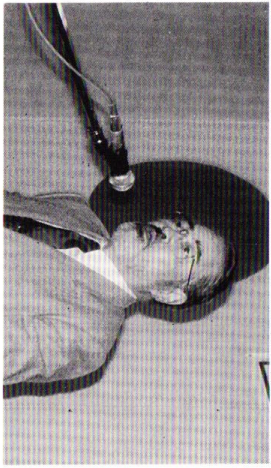
函館北ロータークラブ会報



2003～2004年度
 第11巻
 第11グループB、第11グループ
 国際ローターのテーマ
『手を貸そう』

- ……言行はこれに照らしてか5……
1. 真実か どうか
 2. おんげに公平か
 3. 好感と友情を深めるか どうか
 4. おんげのためになるか どうか

北村 祐治 会長 テーマ『YES, I DO!』さあ、行動しよう!



2月18日卓話 嶋島 幸雄氏

《第1956回例会》 第32号 2月24日(火)

本日のプログラム

「七飯R.C.との合同移動例会」
 ホテルオーケランド 午後6時15分～

★会長 北村祐治(任職) ★幹事 柴崎 晃

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日：毎週水曜日 17:30～18:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870



おもてなしのころで・・・
 仕出し料理の
いしほし
 ☎41-1484

(広告掲載：石橋 輝夫 会員)

函館北ロータークラブはweb(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
 e-mail 777@a.rotary@hakodate-north.org

2003～04年度 函館北ロータークラブの事業目標

1. 一般会計の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「この日と出会うよかつた」——2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 親睦「この日と出会うよかつた」——2003年9月21日創立記念式典・懇親会(記念事業)

*地域社会：市へ交通安全車(1500cc)の寄贈(記念事業)
 ローターによる新世代への新国際奉仕・国際奉仕を推進する
 —— 子供・学生・職業奉仕委員会を通じて地域社会に貢献する ——

4. インターネット・コミュニティ委員を設け、当クラブ以外のクラブとの情報を円滑にし、合わせて会員企業の情報交換に貢献する。
5. 友人の言動に好意を示し、友人の成長を願って、「手」を貸しましょう。
 ——Lend a Hand and Take Action with our heartfelt care ——
 ——for Rotary's international vision!

◎1月28日出席報告

| 会 員 | 39名 | 出席率対象会員 | | 38名 |
|--------|-----|---------|--------|-----|
| | | 出席 | 欠席 | |
| 当日出席 | 24名 | 当日出席 | 14名 | |
| 他クラブ出席 | 7名 | 出席合計 | 31名 | |
| 出 席 率 | | | 83.78% | |

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・3月3日 「会員卓話」
 プログラム 高野 彰 会員

◎司会 北村 祐治 会長 ◎斉唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ゲスト 函館野外劇 輪島 幸雄 理事長代行

◎ピリクラー 函館R.C. 高橋研二君、佐原正三君

◎会長報告 北村 祐治 会長

○理事会報告

○先日ゲストの榎山観光バスガイド講師の森 幸子氏からお礼状が届いています。

○2004-2005年度ロータリーインターナショナルの合い言葉が決まりました。「ロータリーを祝おう」です。

◎幹事報告 柴崎 晃 幹事

○当クワナクワ週の例会は七版R.C.との合同例会として、24日に開催致します。

○和歌山城南R.C.から会報が届いておりますので回覧いたします。

◎会長エレクト報告 南木 哲雄 副会長

○千葉港R.C.20周年式典が10月8日～9日で開かれます。千葉港R.C.の方々も我々の40周年式典の時、多くの方が参加していただいています。我々もなるべく予定をあげて参加するよう宜しくお願いします。

◎親睦活動委員会 青山 栄一 委員

ニコニコBOX投入報告

北村 会長……輪島様のご清徳を祝って、

柴崎 幹事……今年も全員台辞しました。

今井 会員……BOXに協力。

小笠原会員…… ”

数下 会員……2月15日に東京において娘の結婚式無事終了しました。

大谷 会員……皆様の健康を祈って。

中川 会員……BOXに協力。

◎卓話 「函館野外劇当面の課題」 輪島 幸雄 理事長代行

15回までは、市民公募によるシナリオ、それにかつて演劇活動にかかわった市民で演劇活動なさっていた方の演出でやってきましたのですが、「お金をとっている以上は、このレベルでどまっていたのでは先がないのではないか」ということで、函館の野外劇を「日本の野外劇」に目標をおき、演出部門のレベルアップをはかる。そのことによって、新しい函館の観光資源としての費用をいただき、地域に貢献するというところで、初めて野外劇の存在意義というものも、函館市民に評価していただけるのではないかと思います。これから以降申し上げることの方が実に大変であり、これを維持することがしんどいというのが実態です。

- ① 諸経費の問題 (財政問題) — 市からの協力、市民からの協力、企業からの協力で経費問題を支えてもらいたいが、その辺がきついです……。
- ② 出演者の若返り — 出演者の教育の場がない。小中学生の観覧が減っている。(郷土の歴史を勉強するならば、野外劇が一番。)

以上の問題を解決し、よりよい野外劇にしたいと思います。

(会報担当者: 崎野 浩志 委員)